

基本理念

とよの地域公共交通 リ・デザイン まちづくりを支える交通サービスの創造的再構築で未来輝くまちへ

基本方針

A

幹線・支線ネットワークでいつでもどこでも移動したくなる地域公共交通

地域公共交通のベストミックスにより、町内外を結ぶ「幹線」と、町内を循環する「支線（フィーダー）」の役割分担を明確にすることで、利便性の高い地域公共交通ネットワークを構築します。

施策A－1 幹線の利便性向上と維持確保改善

鉄道の利便性向上と維持確保改善

- 鉄道の運行と改善
- 駅周辺の利用環境改善



能勢電鉄車内

路線バスの利便性向上と維持確保改善

- 路線バスの運行と改善
- 行政による運行費補助
- ◆国土交通省「地域公共交通確保維持費国庫補助金（地域間幹線系統）」の活用（豊能西線 光風台駅～箕面萱野駅）



阪急バス支所前停留所

施策A－2 町内移動の維持確保改善（支線、福祉交通）

町内における支線（道路運送法第4条）の維持確保改善

- デマンドタクシーの運行、再編
- 乗用タクシーの維持確保
- ◆AIオンデマンド交通の導入
- ◆国土交通省「地域公共交通確保維持費国庫補助金（地域内フィーダー系統）」の活用



福祉交通との連携・役割分担

- 障害のある方等の移動手段確保にむけた福祉交通の運行（おでかけくん等）
- 豊能町役場庁内の地域公共交通部署・福祉部署間での連携



おでかけくん

基本方針

C

まちの新たな価値を広める地域づくりと連携した地域公共交通

“魅力にあふれるまちづくり”構築にむけ、都市づくりや観光振興等と連携したサービスを創出します。

施策C－1 鉄道駅や主要停留所周辺のまちづくり推進

駅や主要停留所の拠点性向上

- 駅・停留所への待合スペース確保
- ◆駅・停留所周辺施設における待合スペース確保



待合室を備えた妙見駅

駅・主要停留所周辺のまちづくり

- ◆地域情報の発信・地域資源の提供が可能な憩いの拠点づくり（光風台中央公園）

施策C－2 まちの拠点や居場所づくり、観光振興

まちの拠点や居場所づくりによる外出目的の創出

- 生涯学習等による外出目的の創出（高齢者向け講座「ウグイス大学」等）
- ◆来訪者へまちの魅力やコンテンツを発信するための情報コーナーや、休憩・飲食などができる機能を備えた拠点づくり

地域公共交通と連携した観光振興

- ◆地域公共交通による能勢妙見山参詣方策の検討
- ◆地域公共交通と連携した観光施設アクセスやハイキング等の情報PR



廃止を控えて混雑する妙見の森リフト

廃止されたバス停留所は妙見山で保存

基本方針

B

スマートで人と環境にやさしい地域公共交通

ICT・IoT技術を活用したスマートシティへの取組みと連携し、使いやすく持続性の高い地域公共交通サービスを創出します。

施策B－1 AIオンデマンド交通等の導入・改善

AIオンデマンド交通の導入・改善

- AIオンデマンド交通の実証運行と本格運行内容の検討（令和4(2022)～5(2023)年度の実証運行結果を踏まえて検討を深化）
- ◆AIオンデマンド交通の社会実装と利用促進



2023.10.17(火)～2024.2.19(月) 実証実験
阪急 AI オンデマンド交通 ハニタス
ご利用ガイド

基本方針

D

「チームとよの」で使い支える未来まで走る地域公共交通

関係者の連携と役割分担のもとで、持続可能な地域公共交通を維持確保していきます。

施策D－1 地域公共交通を乗って育てる利用促進

鉄道・路線バスの利用促進

- ◆鉄道・路線バス、デマンドタクシー等が体となった「地域公共交通マップ」作成
- ◆小学校等における「鉄道・バス乗り方教室」の開催



地域公共交通マップ

IT・AIの積極活用

- 「阪急沿線アプリ」等による情報提供（路線バスの「バスロケーションシステム」活用 等）
- 「スマート利用」の障壁緩和（中学生による高齢者向けスマホ教室での「AIオンデマンド交通」予約体験 等）



施策D－2 地域公共交通の担い手確保

地域公共交通の担い手確保

- 交通事業者による担い手募集や育成
- ◆中学生の職場体験学習における能勢電鉄や阪急バス、京都タクシー等での受け入れ
- ◆町広報紙による担い手募集



町広報紙による
地域公共交通の
周知事例